

南三陸 復興まちづくり通信

第35号（平成29年5月発行）



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



南三陸歌津に新商店街「ハマーレ歌津」オープン！

東日本大震災で被災した南三陸町歌津に4月23日、新しい商店街「ハマーレ歌津」がオープンしました。式典には関係者や住民ら約400人が集まり、テープカットをし、風船を飛ばして門出を祝いました。商店街は、津波で被災して海拔7mにかさ上げた伊里前地区の中心商店街に建設され、木造平屋2棟。南三陸産材をふんだんに使い、木の温もりが

感じられる建物が特徴で、全部のお店から目の前に広がる青い海が見えます。仮設商店街から移った食品、衣料、電気、鮮魚、酒店など6店舗のほか、カフェと食堂の2店舗が新規出店し、計8店舗が入りました。3月に開業した「南三陸志津川さんさん商店街」とともに、賑わいの創出と町の復興のけん引役となることが期待されます。

防災拠点が復旧 5月1日運用開始

～南三陸消防署歌津出張所が竣工～

大震災の津波で被災した南三陸消防署歌津出張所が4月17日、歌津地区の平成の森に新築移転し、落成式が行われました。新庁舎は鉄筋コンクリート造りの平屋で、延べ面積は434平方m。消防ポンプ車、救急車、広報車各1台が配備され、高橋厚浩所長以下職員16人体制で任務に当たります。6月上旬に業務開始予定の役場歌津総合支所に隣接し、災害時の連絡体制が強化されます。



（完成した南三陸消防署歌津出張所＝4月17日撮影）

椿油のけんちん汁で親睦を深める

～戸倉公営住宅の入居者が交流会～

戸倉復興公営住宅の集会所で3月30日、復興みなさん会が主催する「椿油でけんちん汁を作ろう！」と銘打ったイベントが開かれ、入居者16人が参加しました。昨年の秋に町内の仮設住宅入居者が拾った椿のタネから絞った椿油を使って、大根、ニンジン、ゴボウ、油揚げ、シメジ、ネギなどの入った具だくさんの汁に団子を入れてけんちん団子を作り、会食をしながら親睦を深めました。調理には全員が加わりました。



(けんちん汁を味わう入居者の皆さん＝公営住宅集会所)



(自治会総会の様子＝伊里前復興住宅集会所)

伊里前復興公営住宅で自治会の総会

町営伊里前復興住宅で4月9日、自治会の総会が行われました。集会所で開催された総会には、入居49世帯から38人が出席。伊藤俊会長が「意見を出し合って、新年度のスタートを切りたい」と開会の挨拶を述べました。28年度の行事・事業報告と会計収支決算報告が承認された後、29年度の事業計画と総額276万円の収支予算案が審議され、いずれも原案の通り可決されました。自治会役員選出が行われ、会長には伊藤俊さんが再任されました。実施事業については、月1回ペースで開催する役員会で随時検討する予定です。

春にちなんだ和菓子作りに挑戦！

～伊里前復興住宅で住民の交流会～

伊里前復興公営住宅の集会所で4月14日、住民の交流を促すイベント「春のお茶っこ会&桜餅づくり！」が開催されました。ドコモショップ古川中央店と復興みなさん会が主催したもので、入居者など13人が参加しました。全員でラジオ体操をした後、ドコモショップの後藤久美さんらの指導で桜餅づくりに挑戦。道明寺粉をレンジして餅にし、こし餡を包んで丸めて形を整え、その上から塩漬けにした桜の葉を巻き出来上がりです。完成後は、みんなで楽しく試食会をしました。



(講師の指導で桜餅作りに取り組む参加者)

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

当会は今年度、トヨタ財団と大阪コミュニティ財団から助成をいただいで活動しています。